

～校長通信～

ふたばっ子とともに

R4. 6. 13

6月12日(日)は、浜松市では「いのちの大切さについて考える日」です。
6月6日(月)～10日(金)の一週間の中で、各クラスにおいて道徳等の時間を使って「いのちの大切さについて考える」活動をしました。

6月10日(金)には、朝会で、私がお子たちに向けて「違いを認め合うことが、自分や友達の命を大切にすることにつながる」という話をしました。その後、教室において各クラスの担任が、金子みすゞさんの「私と小鳥と鈴と」を読み聞かせました。

朝会で、私が話した内容についてお伝えします。

みんなちがって みんないい

みなさん、おはようございます。

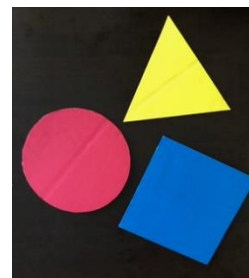
6月12日は、浜松市では「いのちの大切さについて考える日」です。その日が近いので、命についてのお話をします。

—中略—

なぜ、「いじめ」が起こってしまうのでしょうか。
どうすれば「いじめ」をなくすことができるのでしょうか。

今日は、この2つの質問について考えることで、命の大切さを見つめてみましょう。

この袋の中に3つの形があります。
これは・・・「○」ですね。
次に、これは・・・「△」です。
最後に、これは・・・「□」です。



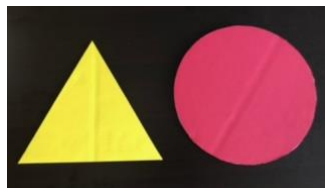
では、ここで、みんなに質問です。黙って手をあげてください。
この中で、あなたが好きな形はどれですか。
「○」が好きな人。このお話の間、あなたたちは今から「○」さんです。
「△」が好きな人。あなたたちは今から「△」さんです。
「□」が好きな人。あなたたちは今から「□」さんです。

次の質問です。

今度も黙って手をあげてくださいね。やっぱり違うなと思ったら、他の答えに2回目、3回目をあげてもいいですからね。

「○」さんと「△」さんと「□」さんの中で、一番偉い形はどれでしょう。

「○」さんだと思ふ人。
「△」さんだと思ふ人。
「□」さんだと思ふ人。
どれもないなあと思ふ人。
みんな同じだよと思ふ人。
ありがとう。



さて、ある日、「○」さんが「△」さんに言いました。

「なあ、△。お前、なんで○じゃないんだ。○になれよ。」

さあ、「△」さんは、「○」になれるでしょうか？

また、ある日、「□」さんが、「△」さんに言いました。

「この中で一番偉いのは□なんだぞ。だから△、言うこと聞けよな。」

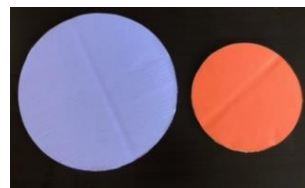
さあ、「□」さんが言っていることを、あなたはどのように思いますか？

「△」さんは、「△」さん。「○」さんには、絶対になれません。みんな顔も、声も、ものの見方や考え方も、いろいろなことが一人一人違うのです。それが当たり前のこと。それを、「お前は違う」と言うことは、「いじめ」につながるかもしれません。

そして、「○」さんも「△」さんも「□」さんも、みんな同じ仲間。

だれが偉いとか、だれがだめだとかは、言えません。それなのに、無理に「順番」をつけようとする…それも、「いじめ」につながるかもしれません。

みんな「ちがう」から、いいのです。



毎日、楽しいし、いろいろなことが起こるのです。「この人、私に似ているな」ということはあります。でも、似ているように見える「○」さんでも、色が違ったり、少し大きさが違ったりして、全く同じということはないと思います。

あなたは、隣りに座っている友達と同じになれるですか。

もし、世の中の人々が、ぜんぶ自分と同じだったら嬉しいですか？

みんなが、「○」さんになるのです。顔も、背の高さも、着ている服も、好きな食べ物も同じ。右を向いたら、みんな右を向きます。あくびをしたら

みんな一緒にあくびをします。それが、世界中で…です。

どうですか。なんだか怖いでしょう。

「みんなちがうのは当たり前」ということを分かっている人は、絶対に「いじめ」はしません。

「みんなが違うからすばらしい」と感じている人は、絶対に「いじめ」はしません。

「みんなが違うのはすてきなこと」だと分かっていない人が、誰かがつらい気持ちや嫌な気持ちになることをしたり、言ったりしてしまうのです。それが、「いじめ」につながっていくこともあります。

まずは、自分が、みんなと違うところを大切にしてください。それは、自分の命を大切にすることになります。

そして、周りの人の違うところも大切にしてください。それは、相手の命を大切にすることになります。



みなさんは、「金子みすゞ」という詩を書く人を知っていますか。

その人の詩に、「みんな違って、みんないい」という言葉の入った作品があります。知っている人もいますね。また、教室に戻ったら、担任の先生と確かめてみてください。

「いじめ」は、絶対にいけません。

「いじめ」は、人の命を奪ってしまうほど良くないことです。もしも、だれかにいじめられたり、「いじめ」を見たりしたら、すぐに先生や周りの大人に知らせてください。

今日は、あなたが「いじめ」を起こさないために、自分や友達の命を守るために大切なことを伝えました。

みんなで、自分の命も、みんなの命も大切にできる双葉小にしたいですね。